

令和4年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたまみずき園
(2)施設概要	<p>①所在地 中央区大戸2-7-21</p> <p>②施設の設置目的 心身障害者が身近な地域の施設に通所し、必要な自立訓練や授産活動の場の提供を受け、社会参加の促進を図る。</p> <p>③施設の概要 敷地面積 641.35㎡ 延床面積 326.73㎡ 構造 木造 平屋建 事業内容 生活介護事業(定員26名) 平成22年4月指定 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) 平成27年4月指定</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和2年度41,760千円、令和3年度41,760千円、令和4年度41,760千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 〈生活介護事業〉 ・利用者数 3,471人(前年度3,428人) ・稼働率55.6%(前年度55.6%) 〈相談支援事業〉 ・契約者数 23人</p> <p>◇業務実施状況 ・開所日数 240日 ・日常生活介護 ・日常健康管理、健康診断、歯科健診 ・日中活動支援(音楽、創作、作業、リラクゼーション、調理、レクリエーション) ・施設行事(季節行事、社会体験活動)</p> <p>②維持管理業務の状況 ・空調清掃業務 ・消防設備点検業務 ・建築設備定期点検業務 ・施設消毒</p> <p>③その他の業務</p>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス等事業 57,179千円 (前年度 56,227千円) ・指定管理料 41,760千円 (前年度 41,760千円) ・その他 5,900千円 (前年度 10,569千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 81,625千円 (前年度 76,335千円) ・事務費 1,740千円 (前年度 1,621千円) ・施設管理費 7,604千円 (前年度 8,749千円) ・事業費 3,515千円 (前年度 3,215千円) ・繰入金 5,087千円 (前年度 5,087千円) ・その他 5,268千円 (前年度 10,278千円)

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>法人全体としては、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による「福祉サービス利用者アンケート」の実施等により利用者からのご意見・ご要望を受付ける機会を設けた。</p> <p>施設としては、ご家庭との日々のやり取りである「連絡ノート」や、送迎時に直接ご意見・ご要望を聞き取るように努めた。また、年数回の保護者会や個別面談も直接ご意見を伺う貴重な機会となった。</p> <p>ご要望としては、新型コロナウイルス感染防止により活動を縮小をしていたことから、これまでのような活動の再開や新たな活動を希望するものが多かった。また、コロナ禍でも感染対策をしながら施設を開所していたことや、休日や祝日に開所日を設けたことについて、有難いとのご意見も多くいただいた。</p> <p>今後も利用者及びご家族等のご意見・ご要望を伺いながら、またコロナの状況を確認しながら活動を検討し、皆様に喜んでいただけるように進めていくことをお伝えした。</p>
(8)その他	特になし

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
サービス向上のための具体的な提案	<p>利用者の皆様が安全で安心して過ごすことができるよう、毎日の帰りの会で情報を共有する他、毎月のケース会議で「ヒヤリハット」事例を振り返り、事故防止に務めた。</p> <p>日常の活動では、新型コロナウイルス感染予防のため縮小していた活動について、感染対策を引き続き行いながら、できる形を模索し、少しずつ再開をした。みずき園の大きな行事である「音楽会」は、縮小する形ではあったが3年ぶりに開催することができ、利用者・ご家族だけでなく音楽ボランティアさんにも喜んでいただけた。</p>
利用率向上のための具体的な提案	<p>相談支援事業者との情報交換を行い、また特別支援学校進路相談会には参加できなかったが、電話連絡で近況を報告し合い、新規利用者の受入れのための働きかけを行った。</p> <p>急な来園による見学を希望された方に対しても、実際に施設の様子を見てもらいながら、丁寧に利用について説明し、新規利用に繋がるようにアピールを行った。</p>
利用者とのトラブル未然防止についての苦情受付体制等適切な対応の図れる体制	<p>職員が情報を共有できるように、毎日帰りの会で利用者動向の振り返りを行った。また毎月の会議では「ヒヤリハット」と「気になる支援」をまとめ、対応について意見を出し合い、検討した。</p> <p>利用者・ご家族からの苦情については、誠意をもって対応し、早期の解決と業務の改善に務めた。</p>

3 評価

(1)指定管理者による評価

<p>利用者の日常生活(食事・排泄・移動・衛生等)に個別性のある支援の提供に努め、「健康の維持と快適な生活」に寄与できるように支援した。</p> <p>令和4年度は、10月から1名の新規契約があり、新型コロナウイルスの影響もある中、1日平均利用者数は前年度14人から14.5人へと、わずかに増加した。また、新たに祝日開所日を設けたことで利用の機会が増え、ご家族にも喜んでいただけた。</p> <p>活動においては、みずき園の大きなイベントである「音楽会」を3年ぶりに実施することができた。新型コロナウイルスの感染予防から今までと同様の規模ではないものの、会場を借り、音楽ボランティアさんやご家族と共に音楽を楽しむことができた。外出活動や販売活動等についても内容を検討し、感染対策を行いながら実施した。</p> <p>経費に関しては、引き続きみずき園の運営・活動に必要な支出について精査し、節電対策(照明器具や空調設備の適切な使用等)及び節水対策(日中の蛇口の確認、使用水量のチェック等)を行い、経費削減に務めた。</p> <p>虐待防止の取組として、職場内研修の実施、法人主催研修の受講、外部研修の受講等を行った。また、接遇や意思決定支援の研修も受講し、受講後には伝達研修を行い、職員全体で日頃の支援を振り返り、意見交換をする機会を持ち、より良い支援が提供できるように務めた。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価 **(B)** ※A~D

食事や排泄などの日常生活や、衛生及び健康管理について、利用者の状況に合わせた個別性のある支援の提供を行った。また、利用者アンケートや保護者との連絡ノートにより、日常的に意見や要望を承る機会を設けた。

活動においては、ボランティアや利用者家族の方々も参加する「音楽会」を3年ぶりに実施、外出や販売活動についても、感染対策を行いながら実施した。また、虐待防止や接遇に関する研修なども受講し、受講後は施設内での共有や日々の振り返りなどを行い、より良い支援の提供に努めた。

以上のことを踏まえ、総合評価を「B」とした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。